

## OpenRTM-aist - チケット

予定工数: 430.0

| #    | 予定工数 | ステータス | 題名   | トラッカー |
|------|------|-------|--|-------|
| 4625 |      | 新規    | ポートを接続したはずなのにシステムダイアグラム上で接続されていないように表示される                                      | バグ    |
| 4624 |      | 新規    | システムダイアグラム上のRTCが消えない、OpenRTPが固まる   | バグ    |
| 4623 |      | 解決    | ネームサーバー起動ボタンを押した時に起動済みのネームサーバーが終了しない   | バグ    |
| 4618 |      | 担当    | 実行コンテキストが停止状態にも関わらず動作し続ける  | バグ    |
| 4567 |      | 解決    | Java版のRTC生成時にパッケージエクスプローラーからJREシステム・ライブラリー、参照ライブラリが消える                         | バグ    |
| 4566 |      | 解決    | RTC生成時にパッケージエクスプローラーにソースコードが表示されない   | バグ    |
| 4559 |      | 解決    | C++用のCMakeLists.txtのテンプレートに含まれているfind_package(OpenRTM) を削除する                   | バグ    |
| 4556 |      | 解決    | rpmパッケージへSSLTransportを追加する   | 整備    |
| 4555 |      | 解決    | RPM build errors: Empty %files file debugsourcefiles.list への対応                 | バグ    |
| 4552 |      | 終了    | Python3.6の場合、Tkinterのimportは全て小文字で表記しないとエラーになる                                 | 整備    |
| 4538 |      | 解決    | RTSE上でマネジャー経由でOpenCVサンプルRTCを起動できるようにrtc.confを整備する                              | 整備    |
| 4529 |      | 解決    | アイコンの作成 (その2)  | 機能    |
| 4528 |      | 解決    | アイコンの作成 (その2)  | 機能    |
| 4527 |      | 解決    | Linux用のrtcd_java, rtcprof_javaスクリプトでRTM_JAVA_ROOTを定義する                         | 整備    |
| 4525 |      | 解決    | configure.acのライブラリ検索パスに新たなパスを追加する  | 整備    |
| 4523 |      | 解決    | OpenRTPの設定でRtcBuilder->Code Generate->Documentを選択すると「変更を受け入れられません」という画面が出る     | バグ    |
| 4521 |      | 解決    | 英語環境で Basic 画面に文字化けがある   | バグ    |
| 4520 |      | 解決    | OpenRTM-aist-Pythonのmsm生成時、rtcprof_python.batが含まれないようにする                       | バグ    |
| 4518 |      | 解決    | コネクタが切断される   | バグ    |
| 4517 |      | 終了    | ComponentObserverからデータポートの入出力を通知するイベントを発行する                                    | 機能    |
| 4516 |      | 終了    | ComponentObserverからデータポートの入出力を通知するイベントを発行する                                    | 機能    |
| 4513 |      | 終了    | ownedのECのProfileのowner属性にRTCのリファレンスを代入する。                                      | バグ    |
| 4509 |      | 終了    | スレーブマネージャ起動時にmanager.modules.load_pathを¥で区切った場合に¥が消える                          | バグ    |
| 4508 |      | 終了    | 一度rtcprofでプロファイルの取得に失敗したモジュールは、次にgetLoadableModulesが呼ばれた時にはプロファイルの取得を行わないようにする | 機能    |
| 4507 |      | 終了    | 一度rtcprofでプロファイルの取得に失敗したモジュールは、次にgetLoadableModulesが呼ばれた時にはプロファイルの取得を行わないようにする | 機能    |
| 4500 |      | 解決    | アイコンの作成  | 機能    |
| 4488 |      | 解決    | RTCBuilderでC++言語を指定した場合にRTCを生成できない   | バグ    |
| 4486 |      | 解決    | Windows環境でのビルド時、OpenSSLのバイナリを組込む処理を追加する  | 整備    |
| 4484 |      | 新規    | manager.modules.<lang>.load_pathsをデフォルトで空白にする                                  | 機能    |
| 4483 |      | 新規    | マスターマネージャからC++のコンポーネントを起動できない。   | バグ    |

| #    | 予定工数 | ステータス | 題名   | トラッカー |
|------|------|-------|--|-------|
| 4473 |      | 終了    | サブスクリプション型がnewの場合に動作が停止する可能性がある                                | バグ    |
| 4472 |      | 新規    | コマンドラインオプション   | 整備    |
| 4470 |      | 終了    | サブスクリプション型がnewの場合に処理が停止することがある問題                               | バグ    |
| 4469 |      | 解決    | rtc.confのログレベルの修正  | 整備    |
| 4464 |      | 終了    | omniINSPOAでのオブジェクト非アクティブ化                                      | バグ    |
| 4462 |      | 終了    | 複合コンポーネントの子コンポーネントをexitするとプロセスが異常終了することがある                     | バグ    |
| 4461 |      | 解決    | コマンドラインオプションに関するコメントの修正する                                      | 整備    |
| 4460 |      | 終了    | コマンドラインオプションに関するコメントの修正する                                      | 整備    |
| 4458 |      | 終了    | InPortConnectorのバッファのサイズ、ポリシーが正常に設定されているかの確認                   | 調査    |
| 4457 |      | 終了    | InPortConnectorのバッファのサイズ、ポリシーが正常に設定されているかの確認                   | 調査    |
| 4453 |      | 担当    | プログラムが終了しない  | バグ    |
| 4450 |      | 終了    | ComponentObserverConsumer モジュールをデフォルトで本体ライブラリに組み込む             | 機能    |
| 4445 |      | 担当    | manager.components.preconnect の形式を変更                           | 機能    |
| 4444 |      | 担当    | rtc.confのデフォルトファイルパス   | 整備    |
| 4443 |      | 担当    | manager.refstring_pathの機能を削除する                                 | 整備    |
| 4434 |      | 担当    | ComponentObserverConsumer モジュールをデフォルトで本体ライブラリに組み込む             | 整備    |
| 4432 |      | 解決    | Linux用OpenRTMConfig.cmakeのOPENRTM_INCLUDE_DIRSへrtm/extのパスを追加する | 整備    |
| 4427 |      | 担当    | SDO サービスコンシューマの動作確認  | 整備    |
| 4422 |      | 終了    | NamingOnCorbaコンストラクタに渡すORBの参照カウントの問題                           | バグ    |
| 4411 |      | 担当    | SimpleService の仕様が他の言語と異なっている。                                 | サンプル  |
| 4389 |      | 担当    | rtcprof_java を引数なしで実行すると " dirname: オペランドがありません " の表示がでる。      | バグ    |
| 4388 |      | 担当    | rtcd_java エラーがでる(Linux)  | バグ    |
| 4375 |      | 担当    | Linuxのサンプルコンポーネントが動作しない  | バグ    |
| 4350 |      | 担当    | windowsでマスターマネージャーからjavaのRTCを起動できない。                           | バグ    |
| 4272 |      | 新規    | rtcprof_javaをexe化する  | 整備    |
| 4263 |      | 担当    | Manager::create_component()でclassファイルを検索する機能をOFFにする機能          | バグ    |
| 4261 |      | 担当    | 実行周期を変更してもonRateChangedコールバックが呼び出されない問題                        | バグ    |
| 4212 |      | 担当    | Java版のStart RTC daemon(windows)が動作しない                          | バグ    |
| 4209 |      | 終了    | Python3でsetup.pyを実行した場合にエラーが出る問題                               | 整備    |
| 4204 |      | 解決    | テンプレートからCMakeポリシー「CMP0002」の定義を外す                               | 整備    |
| 4203 |      | 担当    | マスターマネージャから多言語のRTC(スレーブマネージャ)が起動できる                            | 機能    |
| 4201 |      | 解決    | VisualStudioソリューションファイル生成時のヘッダーの設定を正しくする                       | バグ    |
| 4195 |      | 担当    | モジュールロードパスを複数設定した場合の不具合  | バグ    |

| #    | 予定工数 | ステータス | 題名  | トラッカー |
|------|------|-------|---|-------|
| 4190 |      | 担当    | create_componentで指定したRTCが起動済みの場合にRTCのインスタンスを返す  | 機能    |
| 4189 |      | 担当    | create_componentで指定するidの変更  | 機能    |
| 4187 |      | 担当    | manager_nameに指定が無い場合にmanager_<プロセス番号>でスレーブマネージャを起動する  | 機能    |
| 4186 |      | 担当    | モジュールロード時のエラーを取得できるようにする  | 機能    |
| 4173 |      | 解決    | make installでビルドとインストールの実行時にdoxygen_classref.confでエラーになる  | 整備    |
| 4170 |      | 解決    | RTCテンプレートにmsi用のupgrade GUID設定を追加する  | 整備    |
| 4156 |      | 新規    | ダイレクトデータポート接続のデータ転送が遅い問題  | 調査    |
| 4154 |      | 終了    | Raspbian環境でcpackによるdebパッケージ作成に対応させる   | 整備    |
| 4153 |      | 終了    | RTC生成時のrtc.confへ送信データのMAXサイズを定義する   | 整備    |
| 4150 |      | 終了    | create_componentで指定したRTCが起動済みの場合にRTCのインスタンスを返す  | 機能    |
| 4149 |      | 終了    | create_componentで指定するidの変更  | 機能    |
| 4145 |      | 終了    | ConnectorProfileへのrtc.confからのプロパティの反映   | バグ    |
| 4144 |      | 終了    | ConnectorProfileへのrtc.confからのプロパティの反映   | バグ    |
| 4143 |      | 終了    | ConnectorProfileへのrtc.confからのプロパティの反映   | バグ    |
| 4135 |      | 終了    | doxygen設定ファイルdoxyfile.inを整備する   | 整備    |
| 4134 |      | 終了    | ドキュメント生成タブの「作成者・連絡先」情報がPROJECT_MAINTAINERにセットされるようにする   | 整備    |
| 4133 |      | 終了    | cmake_minimum_requiredを3.0.2とする   | 整備    |
| 4132 |      | 終了    | インストールされているOpenRTM-aistのバージョン番号取得処理を見直す   | 整備    |
| 4128 |      | 終了    | RTCのプロパティにマネージャ名を設定する   | 機能    |
| 4127 |      | 終了    | RTCのプロパティにマネージャ名を設定する   | 機能    |
| 4126 |      | 終了    | OpenRTPのAll in one パッケージ作成時のエラー処理を確認する  | バグ    |
| 4119 |      | 終了    | 同一ポート間で二重接続をデフォルトで許可しないようにする、オプション指定で接続数等を設定する機能を追加する   | 機能    |
| 4118 |      | 終了    | 同一ポート間で二重接続をデフォルトで許可しないようにする、オプション指定で接続数等を設定する機能を追加する   | 機能    |
| 4117 |      | 終了    | 同一ポート間で二重接続をデフォルトで許可しないようにする、オプション指定で接続数等を設定する機能を追加する   | 機能    |
| 4115 |      | 終了    | RTC間の接続線が描画されないことがある  | バグ    |
| 4107 |      | 終了    | スレーブマネージャがマスターマネージャが存在するか定期的に確認する機能   | 機能    |
| 4032 |      | 終了    | ソースからインストールした時のヘッダのタイムスタンプ  | サポート  |
| 4031 |      | 終了    | manager_nameに指定が無い場合にmanager_<プロセス番号>でスレーブマネージャを起動する  | 機能    |
| 4030 |      | 終了    | モジュールロード時のエラーを取得できるようにする  | 機能    |
| 4026 |      | 終了    | sdo.service.consumer.enabled_service、sdo.service.provider.enabled_serviceをenabled_servicesに修正する | バグ    |
| 4024 |      | 終了    | sdo.service.consumer.enabled_service、sdo.service.provider.enabled_serviceの設定項目                  | バグ    |
| 4023 |      | 終了    | RCP版RTSystemEditorのマージモジュールをEclipse4.4ベースで作成する  | 整備    |
| 4020 |      | 終了    | モジュールカテゴリの最後の文字が消える   | バグ    |

| #    | 予定工数 | ステータス | 題名   | トラッカー |
|------|------|-------|--|-------|
| 4016 |      | 終了    | imageprocessingのdebパッケージにopencvの依存関係を追記する                                    | バグ    |
| 4015 |      | 解決    | RTM_VC_VERSIONを変えてもPATHに反映されないことがある(1.1.2)                                   | 調査    |
| 4013 |      | 終了    | RTSystemEditorRCPをWindowsで起動すると、Program Files以下のworkspaceに書き込めずに起動できないことがある。 | 調査    |
| 4010 |      | 終了    | データポート生成部分の修正  | 整備    |
| 3993 |      | 終了    | C++のRTC作成用テンプレートを整備する  | 整備    |
| 3992 |      | 終了    | PythonのRTC作成用テンプレートを整備する   | 整備    |
| 3982 |      | 終了    | PythonのRTC用idlcompile.batでのパスとIDL設定を変更する                                     | 整備    |
| 3980 |      | 終了    | C++のRTC作成用テンプレートのWindows用インストーラ作成機能を整備する                                     | 整備    |
| 3977 |      | 終了    | IDLファイルのコンパイルが実行されずインクルードファイルのエラーが発生する問題                                     | バグ    |
| 3965 |      | 終了    | PythonのRTC用のidlcompile.batを生成している処理を修正する 2                                   | 整備    |
| 3898 |      | 終了    | RTC Builderが生成するソースファイルの文字コードを「BOM付UTF-8」にする                                 | 機能    |
| 3893 |      | 終了    | openrtm-aist rpmパッケージのexampleとdocのインストール先を変更する                               | 整備    |
| 3892 |      | 終了    | openrtm-aist debパッケージのexampleとdocのインストール先を変更する                               | 整備    |
| 3891 |      | 終了    | openrtm-aistのdebパッケージにexampleディレクトリが含まれないようにする                               | 整備    |
| 3890 |      | 終了    | CMakeLists.txtのfind_package(OpenRTM)のHINTSを外す                                | 整備    |
| 3889 |      | 終了    | OpenRTMConfig.cmakeでrtmCameraとrtmManipulatorもリンクライブラリに加える                    | 機能    |
| 3888 |      | 終了    | FindOpenRTM.cmakeをリポジトリの管理から外す   | 整備    |
| 3834 |      | 終了    | OpenRTPのrpmパッケージ作成動作を確認する  | 整備    |
| 3833 |      | 終了    | PythonのRTC用のidlcompile.batを生成している処理を修正する                                     | 整備    |
| 3832 |      | 終了    | OpenRTM-aist 1.2版がインストールされているLinux環境(64bit)でC++コンポーネントのcmake動作を確認する          | 調査    |
| 3828 |      | 終了    | OpenRTM-aist-Javaのrpmパッケージ作成処理を追加する  | 整備    |
| 3827 |      | 終了    | OpenRTM-aist-Javaのdebパッケージ作成処理を追加する  | 整備    |
| 3786 |      | 解決    | omniidl.exeでC++, PythonどちらのIDLコンパイルも可能となる環境を整える                              | 整備    |
| 3785 |      | 終了    | msm作成処理においてExtTriggerサンプルを起動するbatスクリプトを追加する                                  | 整備    |
| 3760 |      | 終了    | 意味のない例外処理を削除する   | バグ    |
| 3715 |      | 終了    | Windows用インストーラmsiを生成する処理を外す  | 整備    |
| 3713 |      | 終了    | CPU affinityを設定する機能を追加する。  | 機能    |
| 3712 |      | 終了    | CPU affinityを設定する機能を追加する。  | 機能    |
| 3710 |      | 終了    | build.xmlで設定しているバージョン番号の定義方法を変更する  | 整備    |
| 3709 |      | 終了    | Windows用ソースパッケージにExtTriggerサンプルを追加する   | 整備    |
| 3704 |      | 担当    | ECにアタッチされたRTCが即座に追加されないためACTIVATE時に適切に遷移しない問題                                | バグ    |
| 3647 |      | 終了    | rpmパッケージ名のアーキテクチャをi686にする  | 整備    |
| 3643 | 30.0 | 新規    | Java版の1.2新機能の動作確認  | 調査    |

| #    | 予定工数 | ステータス | 題名  | トラッカー |
|------|------|-------|---|-------|
| 3609 |      | 新規    | Managerの再初期化                              | 調査    |
| 3608 |      | 新規    | ログにエスケープシーケンスが入るため見づらくなる                  | 整備    |
| 3601 |      | 終了    | C++のRTC作成用テンプレートにDEB/RPMパッケージ作成機能を追加する    | 機能    |
| 3432 |      | 新規    | ECスレッドを実行するCPUを固定する機能の実装                  | 機能    |
| 3413 | 30.0 | 終了    | スレーブマネージャの名前によるグルーピング                     | 機能    |
| 3412 | 30.0 | 終了    | 名前付けポリシー機能の拡張                             | 機能    |
| 3411 | 30.0 | 終了    | 名前ベースのコンポーネント指定方法の実装                      | 機能    |
| 3410 | 30.0 | 終了    | 共有メモリ型データポート接続機能                          | 機能    |
| 3409 | 30.0 | 終了    | セキュアな通信機能                                 | 機能    |
| 3408 | 30.0 | 終了    | サービスポートのダイレクト接続機能                         | 機能    |
| 3407 | 30.0 | 終了    | ダイレクトデータポート接続機能                           | 機能    |
| 3406 | 30.0 | 終了    | トピックベースのポート接続機能                           | 機能    |
| 3405 | 20.0 | 終了    | 起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（非同ープロセス）        | 機能    |
| 3404 | 20.0 | 終了    | コンポーネント起動時に事前設定に従い起動時にポート同士を接続する（非同ープロセス） | 機能    |
| 3403 | 30.0 | 終了    | 起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（同ープロセス）         | 機能    |
| 3402 | 30.0 | 終了    | コンポーネント起動時に事前設定に従いポート同士を接続する機能（同ープロセス）    | 機能    |
| 3401 | 30.0 | 終了    | ネームサービス操作関数セットの実装                         | 機能    |
| 3400 | 30.0 | 終了    | コンポーネント操作関数セットの実装                         | 機能    |
| 3398 |      | 担当    | スレーブマネージャの名前によるグルーピング                     | 機能    |
| 3397 |      | 担当    | 名前付けポリシー機能の拡張                             | 機能    |
| 3396 |      | 担当    | 名前ベースのコンポーネント指定方法の実装                      | 機能    |
| 3395 |      | 担当    | 共有メモリ型データポート接続機能                          | 機能    |
| 3393 |      | 担当    | サービスポートのダイレクト接続機能                         | 機能    |
| 3392 |      | 担当    | ダイレクトデータポート接続機能                           | 機能    |
| 3391 |      | 担当    | トピックベースのポート接続機能                           | 機能    |
| 3390 |      | 担当    | 起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（非同ープロセス）        | 機能    |
| 3389 |      | 担当    | コンポーネント起動時に事前設定に従い起動時にポート同士を接続する（非同ープロセス） | 機能    |
| 3388 |      | 担当    | 起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（同ープロセス）         | 機能    |
| 3387 |      | 担当    | コンポーネント起動時に事前設定に従いポート同士を接続する機能（同ープロセス）    | 機能    |
| 3386 |      | 担当    | ネームサービス操作関数セットの実装                         | 機能    |
| 3385 |      | 担当    | コンポーネント操作関数セットの実装                         | 機能    |
| 3274 |      | 終了    | スレーブマネージャの名前によるグルーピング                     | 機能    |
| 3273 |      | 終了    | 名前付けポリシー機能の拡張                             | 機能    |

| #    | 予定工数 | ステータス | 題名   | トラッカー |
|------|------|-------|--|-------|
| 3272 |      | 終了    | 名前ベースのコンポーネント指定方法の実装                         | 機能    |
| 3271 |      | 終了    | ネームサービス操作関数セットの実装                            | 機能    |
| 3270 |      | 終了    | コンポーネント操作関数セットの実装                            | 機能    |
| 3269 |      | 終了    | 共有メモリ型データポート接続機能                             | 機能    |
| 3265 |      | 終了    | セキュアな通信機能                                    | 機能    |
| 3264 |      | 新規    | ダイレクトデータポート接続機能                              | 機能    |
| 3263 |      | 終了    | トピックベースのポート接続機能                              | 機能    |
| 3262 |      | 終了    | 起動時にポート同士を接続する（非同プロセス）                       | 機能    |
| 3242 |      | 新規    | Direct型のデータポートにコールバック機能を実装する                 | 機能    |
| 3225 |      | 担当    | 同プロセスのコンポーネント間のデータポート接続で、データ転送をダイレクトに行うようにする | 機能    |
| 3224 |      | 解決    | 同プロセスのコンポーネント間のデータポート接続で、データ転送をダイレクトに行うようにする | 機能    |
| 3039 |      | 担当    | ネームサービスに登録する名前のフォーマットに関する改良                  | 整備    |